

総合的な学習の時間学習指導案

神石郡三和町立来見小学校 高松 秀樹

1 学 年 第4学年 12名

2 単元名 ふるさと三和自然研究所〈かんきょう〉

3 単元について

【単元観】

太古より人間は自然の豊かな恩恵を受けて暮らしてきた。特に、多くの森林や山林を有し、四季の移り変わりのある日本では、人々の生活は木々や植物と密接な関係をもっていた。例えば、人々は長年の経験や知恵から、様々な植物の根・茎・葉や木の実などを食用や薬用として役立ててきた。また、樹木は他の材料に比べ加工しやすいという利点があるため、様々な建物や道具の材料として広く使われてきた。さらに、森林や山林は、人々の生活を風雨などの災害から守ってきたとも言える。こうした例からも分かるように、長い年月に渡り、木々や植物は私たちの生活になくてはならないものであった。しかしながら、近年、こうした人間と自然との関係が少しずつ薄れてきている。その原因としては、開発に伴う自然の減少や環境破壊、物の氾濫などいろいろなことが考えられるが、児童に視点をあてるならば、まずは自然体験の不足が大きな原因として挙げられる。自然の中で、自然を生かして遊んだり生活したりする機会が少なくなり、児童の意識や興味・関心がまわりの自然に向けられにくくなっている。このことは、本校の児童についても例外ではない。

そう考えると、本教材は、普段児童があまり意識していない身近な自然について、特に植物に焦点を当て、見学や採取を行ったり、自然のものを利用した楽しい活動を行ったりすることで、自然のよさやすばらしさを改めて実感することのできる意義ある教材である。また、自分自身や自分の生活との関わりを大切にしながら、町内の樹木調査に取り組むことで、自然への理解を深め、自然と積極的にかかわりながら生活していこうとする態度を育てることのできる大変意義ある教材でもある。

【児童観】

本学級の児童は、1学期のくすみ学習で「かんきょう」をテーマにした「来見ふれあいネットワーク」の活動に取り組んだ。身近な自然や環境の現状について、自分とのかかわりを大切にしながら調査したり、環境を守る方法を積極的に話し合い、実践したりしてきた。このような活動を通して、児童一人ひとりに、地域の一員として自然を守り大切にしていこうとする態度が少しずつ身についてきた。また、身近な自然や環境への興味・関心も徐々に高まってきた。

しかしながら、自分たちの住んでいる三和町の自然にはどんな特徴があるかといった認識はまだ十分育っていない。自然の中で遊んだり、自然のものを生かして何か作ったりといった基本的な自然体験が不足しており、ふるさと三和町の自然について、一人ひとりが具体的に話をすることができないのが現状である。また、場面によっては、自分に自信がなく、なかなか意見が言えなかったり、はじめから教師に頼ってしまったりする児童もいる。

問題解決学習については、第3学年時までの取り組みにより、ほぼ基本的な過程（学び方）は身に付きつつある。しかし、追究場面ではまだまだ個人差が大きく、することの多くを友だちに頼ってしまう児童や活動の途中で自分の問題の視点があやふやになってしまう児童がいる。

【指導観】

平素、学習集団づくりについては、基本的な「聞く」「話す」の学習規律のさらなる定着と深化に向けて、日々の取り組みを行っている。日目標を設定しての取り組みの中で、自分たちが決めたためあてを自分たちの力で頑張っていけるように、班を中心にめあて達成のための手だてを決め、班の中で声かけや励まし合いができるようにきめ細かい評価や自己の振り返りを大切に取り組んでいる。

そこで本単元の指導にあたっては、まず、第1次でオリエンテーションを行い、1学期のくるみ学習を振り返りながら、これからの活動について、児童と共に全体計画を立てていくことで、児童一人ひとりが活動への意欲と自分なりの見通しをもてるようにしたい。その際、単なる話し合いだけでなく、1学期から継続して取り組んでいるインターネットを利用した他校との交流活動やこれからの学習の方向性を示す体験活動を事前に仕組むことで、今後の活動がより意欲的にできるよう支援したい。

そして、第2次では、こうした意欲を大切にしながら、三和町の自然を生かした体験活動に取り組むことで、三和町の自然のおもしろさやよさを実感できるようにしたい。また、三和町の自然の特徴や自分とのかかわりについても理解が深められるようにしていきたい。

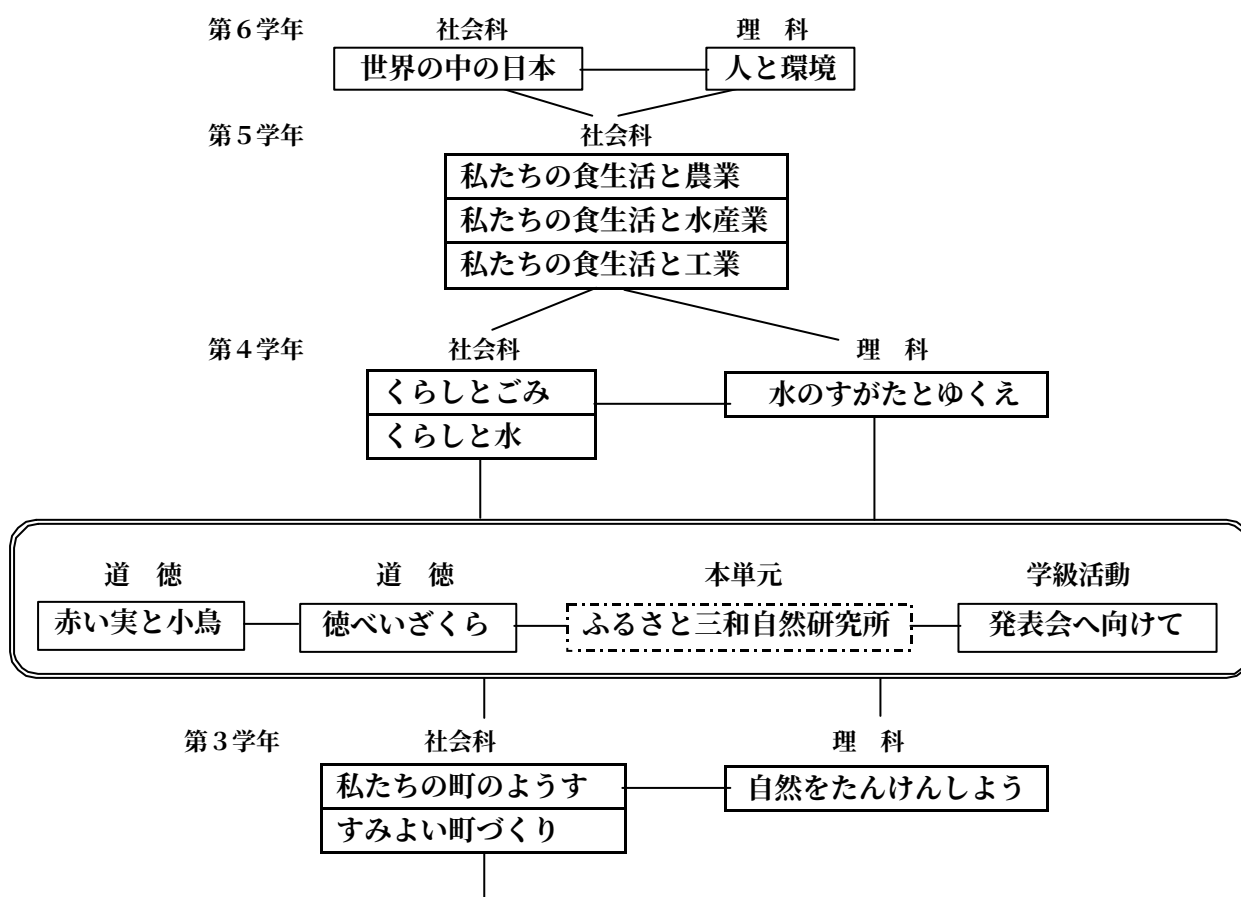
その上で、第3次では、町内の樹木研究を行いたい。自然の中でも樹木に焦点を絞り、町内の調査を行うことで、三和町の自然の特徴を児童がより具体的な形で捉えられるようにしていきたい。また、樹木を通して、自然と人とのかかわりをいろいろな視点から見つめることで、ふるさとの自然に対する自分なりの思いや考えがもてるようにしていきたい。さらに、調査結果をマップにまとめることで、これまで学習してきたことを整理できるようにするとともに、取り組みへの成就感がもてるようにしていきたい。

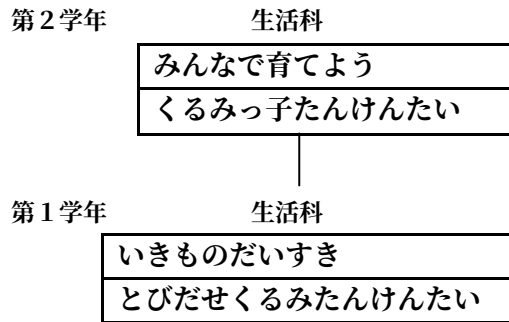
そして、第4次では、「くるみ学習発表会」へ向けて、それぞれが自分の役割に責任をもち、協力して準備や練習に取り組んでいくことで、これまで学習してきたことをより多くの人に伝えられるようにする。その際、お互いの頑張りを認め合うことで、友だちの学び方や考え方のよさに気づくことができるようにしたい。

最後に第5次で、今までの活動のまとめを行い、これまでに自分が学んだことや感じたことなどを整理し、一人ひとりが自然や環境に対して自分なりの見方や考え方をしっかりともてるようにしていきたい。

全体を通して、表面的で安易な考えや楽しさだけに活動が流れないように、それぞれの場面場面において、今までの考え方や価値観（一人ひとりの生活や生き方）を問い直す議論を繰り返していくようにしたい。

4 全体的な関連





5 単元の目標

○ 総括目標

ふるさとの特徴的な草花や樹木に興味・関心をもち、それらを自分とのかかわりを大切にしながら進んで調べたりまとめたりする活動を通して、自然への理解を深め、自然と積極的にのかかわりながら生活していこうとする態度を育てる。

また、これらの活動や他校との交流を通して、調べ方やまとめ方、情報発信の仕方など、自分なりの学び方や表現方法を身に付ける。

○ 具体的な目標

【活動への関心・意欲・態度】

- ① これから行う活動について、その概要を知り、自分なりの問題意識や見通しをもつことができる。
- ② 身近な木々や草花に興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
- ③ 三和町の自然について、いろいろな活動にチャレンジしてみようという意欲をもつことができる。
- ④ 植物と人間の生活とのかかわりに関心をもち、進んでそのかかわりを調べることができる。
- ⑤ 三和町の自然や環境に興味・関心をもち、意欲的に調べることができる。
- ⑥ パソコンの基本的な操作について、進んで練習することができる。
- ⑦ 町内の樹木に関心を持ち、進んで調べる計画を立てることができる。
- ⑧ 計画にしたがって、意欲的に見学、調査、インタビュー等を行うことができる。
- ⑨ 樹木マップづくりに関心をもち、進んで活動することができる。
- ⑩ 自分たちの考えをもとに、進んで実行のための準備をすることができる。
- ⑪ 学習の成果を進んで発表することができる。
- ⑫ 次の活動へ向けて、自分なりの思いや願いをもつことができる。

【学び方】

- ① 情報の内容や趣旨を正しく読み取ることができる。
- ② 自然や環境に対して、自分なりの問題意識をもち、返事を書くことができる。
- ③ 活動してみたいことについて自分なりの見通しをもち、全体計画を立てることができる。
- ④ 調べたいことについて自分なりの視点を持ち、活動計画を立てることができる。
- ⑤ 自分の問題について、いろいろな方法を用いて的確に調べることができる。
- ⑥ 自分たちがまとめたことを、分かりやすく相手に伝えることができる。
- ⑦ 知りたいことについて、自分なりの視点をもって、見学や採取をすることができる。
- ⑧ 調査したり経験したりしたことを、分かりやすくまとめ、図や表、文章などに表すことができる。
- ⑨ パソコンの基本的な操作を行い、情報を発信することができる。
- ⑩ 自分が調べたいことをはっきりさせ、調べるための方法や手順を自分なりに考えることができる。
- ⑪ 知りたいことについて、自分なりの視点をもって、見学や調査をすることができる。

- ⑫ 調査したり経験したりしたことを, 分かりやすくまとめ, 図や表, 文章などに表すことができる。
- ⑬ 自分が調べたことや発見したことなどを, 分かりやすく表現することができる。
- ⑭ これまでに学習したり経験したことを効果的に分かりやすく伝える方法を考えることができる。
- ⑮ 自分の考えや主張が相手に分かるように, 工夫して作品を作ることができる。
- ⑯ 見通しをもって, 計画的に準備することができる。
- ⑰ まとめたことを表現方法を工夫して発表することができる。

【生き方の探求】

- ① 自然と人間とのかかわりについて考えることができる。
- ② 自然のおもしろさやよさを自分たちの生活に生かすことができる。
- ③ 自分の役割をしっかりと果たし, 友だちと協力して楽しく活動することができる。
- ④ 目的に向かい, 友だちと共に協力して, 自分の役割を積極的に果たしていくことができる。
- ⑤ 自分の役割をしっかりと果たし, 友だちと協力して調べることができる。
- ⑥ 目的に向かい, 友だちと共に協力して, 自分の役割を積極的に果たしていくことができる。
- ⑦ 自分と樹木（自然）とのかかわりについて, 自分なりの視点で考えることができる。
- ⑧ 友だちの考えや方法のよさを認め, これからの活動や自分の生活に生かすことができる。
- ⑨ 自分の役割をしっかりと果たし, 友だちと協力して制作することができる。
- ⑩ 今までの活動を自分なりに振り返ることで, 自分の成長に気づき, 新たな興味・関心をもつことができる。

【道徳】

〔自然愛護〕

- ① 自然の不思議さや素晴らしさに気づき, 自然に親しみ, 動植物を大切にしようとする心を育てる。

〔郷土愛〕

- ① 郷土の文化と伝統を大切に, 郷土の一員として郷土を愛する心情を育てる。

【特別活動】

〔学級内の組織づくりや仕事の分担等〕

- ① 学級全体の中での自分の役割を自覚し, 責任をもって活動することができる。
- ② 友だちと協力して, 自主的に活動を進めることができる。

6 活動計画

活動内容	具体的な目標	児童の想い
第1次 オリエンテーション・学習計画づくり（7時間） ○ふるさと三和自然研究所について、その概要を知る。	・これから行う活動について、その概要を知り、自分なりの問題意識や見通しをもつことができる。 【活動への関心・意欲・態度－①】 （発言・行動分析）	オリエンテーション ・三和町の自然についていろいろと調べてみたい。 交流校のメールを読む どのように返事を書けばいいのだろうか ・一人ひとりのことをもっとくわしく伝えよう。 ・今まで調べた環境のことを伝えよう。 ・学校での生活や勉強のことを伝えよう。 ・自分たちが疑問に思っていることを聞いてみよう。 自分たちのこと 自然・環境のこと 学校のこと ・学校にはどんな木があるのかな。 ・こんなにたくさんの木があったんだね。 木の名前ウォッチング 全体の学習計画づくり
○交流校から来たメールやビデオメールを見て、返事を書く。	・情報の内容や趣旨を正しく読み取ることができる。 【学び方－①】 （発言・記録分析） ・自然や環境に対して、自分なりの問題意識を持ち、返事を書くことができる。 【学び方－②】 （記録分析）	・町内の植物や樹木についてしっかり調べていくぞ。 ・自然を生かした体験活動が楽しみな。 ・友だちと一緒に楽しく活動したいな。
○校内の「木の名前ウォッチング」にチャレンジする。	・身近な木々や草花に興味・関心を持ち、意欲的に活動することができる。 【活動への関心・意欲・態度－②】 （行動分析）	生き生き体験活動の具体的な活動計画づくり ・自然を生かしてどんな活動ができるかな。 ・いろいろな活動がしたいな。 自然の植物は私たちの生活とどんな関係があるのだろうか ・食べられる植物にはどんなものがあるのかな。 ・植物を使ってどんなものが作れるかな。 調べ学習 ・自然の植物にはどんな知恵があるのかな。 ・昔の人は植物とどうつきあってきたのかな。 利用 知恵 歴史 調べたことの交流 ・自然は私たちの生活と深いかわりがあるんだね。 ・昔の人は自然をうまく利用してきたんだね。 ・植物も生きていくために、いろいろな工夫をしているんだね。 町内の自然見学・採取 ・このくきやつるは役に立ちそうだ。 ・この葉には、字が書けるよ。 ・これはめずらしい植物だね。 根・茎 葉 花・実 ・三和町にはいろいろな植物が生息しているんだね。 ・もっといろいろな自然とふれあいたいな。 ・三和町には美しい自然がいっぱいあるね。 ・この自然をいつまでも残していきたいな。 ・植物はいろいろなことに利用できるんだね。
第2次 いきいき自然体験（17時間） ○三和町の自然を生かした体験活動について、具体的な計画を立てる。	・三和町の自然について、いろいろな活動にチャレンジしてみようという意欲をもつことができる。 【活動への関心・意欲・態度－③】 （発言・記録分析） ・調べたいことについて自分なりの視点を持ち、活動計画を立てることができる。 【学び方－④】 （発言・記録分析）	○調べたことをまとめ、交流する。
○植物とわたしたちの生活との関係について、調べ学習を行う。	・植物と人間の生活とのかかわりに関心を持ち、進んでそのかわりを調べることができる。 【活動への関心・意欲・態度－④】 （行動・記録分析） ・自分の問題について、いろいろな方法を用いて的確に調べることができる。 【学び方－⑤】 （発言・記録分析）	○調べたことをまとめ、交流する。
○調べたことをまとめ、交流する。	・自分たちがまとめたことを、分かりやすく相手に伝えることができる。 【学び方－⑥】 （発言分析） ・自然と人間とのかかわりについて考えることができる。 【生き方の探求－①】 （発言・記録分析）	○事前交流を生かして見学や採取を行う。
○事前交流を生かして見学や採取を行う。	・三和町の自然や環境に興味・関心を持ち、意欲的に調べることができる。 【活動への関心・意欲・態度－⑤】 （行動・発言分析） ・知りたいことについて、自分なりの視点をもって、見学や採取をすることができる。 【学び方－⑦】 （行動・記録分析） ・自然の不思議さや素晴らしさに気づき、自然に親しみ、動植物を大切にしようとする心を育てる。 道徳 【自然愛護】① （行動・発言分析）	いきいき自然体験活動 ・どんな味がするのかな。 ・うまく作れるといいな。
○見学や採取をもとに、三和町の自然を生かした体験活動を行う。	・自然のおもしろさやよさを自分たちの生活に生かすことができる。 【生き方の探求－②】	

	(発言・記録分析) 自分の役割をしっかりと果たし、友だちと協力して楽しく活動することができる。 【生き方の探求－③】 (行動分析)	- 初めて食べたけどおいしいね。 - 他にどんなことに利用できるのかな。 - こんな楽しい遊び道具になるんだね。 - 植物の使い道はたくさんあるんだね。 - どんなまとめ方がいいかな。 - 何を伝えればいいかな。 - 模造紙にまとめよう。 - OHPを使ってまとめよう。 - パソコンで絵を描いてみたいな。 - 早く文章を打てるようになろう。 - やり方が分かったぞ。 - もっと練習したいな。 - ちゃんと送られたかな。 - 早く返事が来るといいな。
○これまでの学習結果をそれぞれの方法でまとめる。	- 調査したり経験したりしたことを、分かりやすくまとめ、図や表、文章などに表すことができる。 【学び方－⑧】 (作品分析) - 目的に向かい、友だちと共に協力して、自分の役割を積極的に果たしていくことができる。 【生き方の探求－④】 (行動分析)	
○これまでの学習結果や成果をパソコンでまとめ、交流校へ送る。	- パソコンの基本的な操作について、進んで練習することができる。 【活動への関心・意欲・態度－⑥】 (行動分析) - パソコンの基本的な操作を行い、情報を発信することができる。 【学び方－⑨】 (行動分析)	パソコン操作の練習 図や絵を描く 文章を書く まとめの送信
第3次 三和町樹木研究（13時間） ○三和町の主な樹木について調査を行う計画を立てる。	- 町内の樹木に関心を持ち、進んで調べる計画を立てることができる。 【活動への関心・意欲・態度－⑦】 (発言・記録分析) - 自分が調べたいことをはっきりさせ、調べるための方法や手順を自分なりに考えることができる。 【学び方－⑩】 (記録分析)	樹木調査の計画づくり - いろいろな木を調べてみたいな。 - めずらしい木はあるのかな。 - 大きな木を調べてみたいな。 - 町内にはどんな種類の木があるのかな。 三和町にはどんな樹木があるのだろうか
○実際に調査を行う。	- 計画にしたがって、意欲的に見学、調査、インタビュー等を行うことができる。 【活動への関心・意欲・態度－⑧】 (行動分析) - 知りたいことについて、自分なりの視点をもって、見学や調査をすることができる。 【学び方－⑪】 (行動・記録分析) - 自分の役割をしっかりと果たし、友だちと協力して調べることができる。 【生き方の探求－⑤】 (行動分析)	たくさんある木 めずらしい木 歴史のある木 町内の樹木調査 写真・スケッチ 採取 聞き取り - 町内にはいろいろな木があるんだね。 - こんな大きな木初めて見たよ。 - どんな特徴があるのかな。スケッチをとうろ。 - 葉っぱをもって帰ってくわしく調べよう。
○調査結果をそれぞれの方法でまとめる。	- 調査したり経験したりしたことを分かりやすくまとめ、図や表、文章などに表すことができる。 【学び方－⑫】 (作品分析) - 目的に向かい、友だちと共に協力して、自分の役割を積極的に果たしていくことができる。 【生き方の探求－⑥】 (行動分析)	調査結果のまとめ 模造紙 デジカメ OHP - 木の種類のいろいろ分かったよ。 - 大きな木には歴史があるんね。 - 模造紙に絵や説明を入れてまとめよう。 - OHPで分かりやすくまとめよう。 - デジカメでとった写真を使って説明しよう。
○調査結果をもとに交流を行う。（本時1/2）	- 自分と樹木（自然）とのかかわりについて、自分なりの視点で考えることができる。 【生き方の探求－⑦】 (発言・記録分析) - 郷土の文化と伝統を大切に、郷土の一員として郷土を愛する心情を育てる。 【道徳】 【郷土愛】① (発言・記録分析)	結果の交流 - 木の葉はいろいろなことに利用できるんだね。 - 昔の人は木を神様のように大切にしていたんだね。 樹木とわたしたちの生活にはどんなかかわりがあるのだろうか 利用 気候 歴史
○三和町樹木マップを作成する。	樹木マップづくりに関心をもち、進んで活動することができる。 【活動への関心・意欲・態度－⑨】 (行動分析)	三和町樹木マップづくり どんな木をマップにのせたらいいかな。

	・自分が調べたことや発見したことなどを,分かりやすく表現することができる。 【学び方―⑬】 (作品分析) ・友だちの考えや方法のよさを認め, これからの活動や自分の生活に生かすことができる。 【生き方の探求―⑧】 (行動分析) ・自分の役割をしっかりと果たし, 友だちと協力して制作することができる。 【生き方の探求―⑨】 (行動分析)	・ただ木をのせるだけでなく, 調べたことのせよう。 たくさんある木 めずらしい木 歴史のある木 ・みんなが見て分かりやすいマップにしよう。 ・よし, 頑張って作るぞ。 利用 気候 歴史 ・みんなであまう協力してできたね。・いいマップになったね。 ・これからも木のことをいろいろと調べてみたいね。 ・マップにまとめると三和町の木のことがよく分かるね。 ・このマップをたくさんの人に見てもらいたいね。 研究報告会のシナリオづくり ・学習したことの中から, みんなに何を伝えたいかよく考えよう。
第4次 自然研究所研究報告(8時間) ○今までに調べたことや体験したことを, どのようにまとめ, 発表するかを考える。	・これまでに学習したり経験したことを効果的に分かりやすく伝える方法を考えることができる。 【学び方―⑭】 (発言・記録分析)	これまで学習してきたことを 見ってもらう人に分かりやすく 伝えるにはどうすればいいだろうか ・みんなによく分かるように発表するには, どうすればいいかな。 ・どういう役割分担をすればうまくいくかな。 模造紙 ビデオ 劇 紙芝居 ・低学年の子には劇や紙芝居があった方がきっと分かりやすいね。 ・準備物は何か必要かな。・まとめて書くのはなかなか難しいね。 ・この場面は模造紙にまとめた方がよく分かるね。 研究報告会の準備・練習 ・～さん(君)は大きな声で上手に説明しているね。 ・よし, わたし(ぼく)もがんばるぞ。 ・よし頑張って練習するぞ。 ・～さん(君)のやり方は, なかいかいいアイデアね。まねしてやってみよう。 音楽担当 絵・道具担当 説明担当 ・みんなでしっかり協力してやらないといけないね。 ・みんなで頑張ろう! ・緊張するけど, 発表会が楽しみな。 ・みんなで上手に協力すると, 早く進むね。 ・うまいきそうだな。これなら本番も頑張れるかな。
○各担当ごとにまとめや発表の準備を行う。	・自分の考えや主張が相手に分かるように, 工夫して作品を作ることができる。 【学び方―⑮】 (発言・作品分析) ・見通しをもって, 計画的に準備することができる。 【学び方―⑯】 (行動・発言分析) ・自分たちの考えをもとに, 進んで実行のための準備をすることができる。 【活動への関心・意欲・態度―⑩】 (行動分析) ・学級全体の中での自分の役割を自覚し, 責任をもって活動することができる。 学級活動 【学級内の組織づくりや仕事の分担等】① (行動分析) ・友だちと協力して, 自主的に活動を進めることができる。 学級活動 【学級内の組織づくりや仕事の分担等】② (行動分析)	くろみ学習発表会 ・ドキドキするなあ。・みんなに知ってもらえてよかったね。 ・大きな声で発表できてよかったね。 ・他の学年も楽しい工夫をしていたね。 ・高学年のような活動もしてみたいな。 ・みんなよく頑張っていたよ。 ・これからもしっかりと自然やかんきょうのことを考えていきたいね。 学習のまとめ
○まとめたことを「くろみ学習発表会」で発表する。	・学習の成果を進んで発表することができる。 【活動への関心・意欲・態度―⑪】 (行動分析) ・まとめたことを表現方法を工夫して発表することができる。 【学び方―⑰】 (行動分析)	活動・自分自身の生活の振り返り ・今回の学習で自分たちの住んでいる三和のすばらしさが, また, たくさん分かったよ。・みんなであまう協力できてよかったね。 ・いろいろな調べ方やまとめ方ができるようになったよ。 さらなる活動へ ・また, みんなで三和のことをいろいろと調べてみたいな。 ・次はこんな活動がしてみたいな。 ・もっとくわしく環境について学習していきたいね。 ・よし, 5年生になっても頑張るぞ。
第5次 学習のまとめ(2時間) ○これまでの活動を振り返り, まとめを行う。	・今までの活動を自分なりに振り返ることで, 自分の成長に気づき, 新たな興味・関心をもつことができる。 【生き方の探求―⑩】 (発言・記録分析)	
○これまでの活動をもとに, 次にどんな活動がしてみたいか話し合う。	・次の活動へ向けて, 自分なりの思いや願いをもつことができる。 【活動への関心・意欲・態度―⑫】 (発言・記録分析)	↓

7 本時のねらい

町内の樹木調査をもとに、各グループがまとめたものを進んで交流する活動を通して、樹木（自然）と人間とのかかわりについて、自分なりの思いや考えを深めることができる。

8 準備物

各グループでまとめたもの、ノート、メモ帳、OHP、ビデオ、いろいろな木の葉や実、ふりかえりカード

9 展開（第三次8時間目）

学習活動と主な児童の反応予想	見取りと支援	評価と方法
○いろいろな樹木の葉や実を見る。 ——共通問題—— 樹木と私たちの生活には、どんなかかわりがあるのかな？ ○ふりかえりカードで自分の問題を確認する。 ——個の問題—— ○各グループごとにまとめたものを発表する。 ○グループ発表をもとに意見交流をする。 ○今日の活動を振り返って、各自ふりかえりカードを記入する。	○いろいろな樹木の葉や実を見ることで、本時の活動への意欲を高める。 ○児童が各自の問題を確認することで、今日の学習のめあてを一人ひとりがしっかりともてるようにする。 ○各グループで説明する際、伝える相手を意識して、効果的に表現できるよう言葉かけを行い、肯定的な評価を行う。 ○お互いの発表を聞くことで、自分たちとは違った視点で、人間と自然とのかかわりを見つめることができるように助言する。 ○交流の時間をできるだけ保障することで、児童がじっくりと自分なりの考えをもてるようにする。 ○交流中や交流後に適宜L.C.Tの人の意見や感想を聞き、児童が自分の意見を深められるようにする。 ○児童は自己評価を行い、教師は活動に対しての感想を述べる。	【生き方の探求-⑦】 自分と樹木（自然）とのかかわりについて、自分なりの視点で考えることができたか。 [発言・記録分析]